



発行元：
株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113
〒496-0036
代表TEL:(0567)26-3921
FAX:(0567)26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

愛宕作業所? / ナイス・デイ

昼食を終え、午後のひと時...

そこにある光景がみられる。広告を丸める人。はさみ仕事をする人。型紙に合わせてカッターで切る人等々。

まるでどこかの作業所のような。今年は利用者さん自らの手で誕生日の写真を飾るフォトフレームを作ってもらっている。2つと同じものはなく、何とも味のあるフォトフレームが順次出来つつある。

ある時は真剣そのものでモクモクと...ある時は思わず手を止め話に花を咲かせながら...利用者の皆様が行動を起こす、活動に参加する。そして達成感と満足感を味わう。

こういう過程こそ大切にしていきたい。< M・O >



車内での会話 / ナイス・キッズ



学校が終わり、子供たちが自宅へ到着する時間帯に各家庭へ迎えにまわりますが、その車中での会話が、なかなか面白い。

疲れて寝てしまう事もあるけれど、起きていればお喋りに夢中。ひっきりなしに喋り続ける。たまにこちらからも話題を提供してみる。

「大人になったら何になりたい?」「サンタさんには何をお願いした?」等々。質問の答えに爆笑したり、感心したり、「う~ん」と考えさせられたり...。たまに、「これはお母さんに内緒ね!」って言われる事も...

でも、そんな会話も数年すれば忘れてしまうのだろう。彼等が中学生くらいになった頃、「あんだ達、小学校の頃は っって話してたんだよ」と伝えたら、どんな顔をすだろう? 今から楽しみだ。 < K・T >



2月の利用状況

ナイス・ケア(定員なし)
...新規サービス大歓迎
愛宕の家(定員10名)
...入居者9名
つしま紹介所
...新規紹介者様大歓迎
ナイス・ホーム(定員17名)
...登録者15名
ナイス・デイ(定員10名)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 6 | 7 | 8 | 7 | 9 | 9 | 7 |

(数字は定期のご利用者数)
募集中 満員
お気軽にお問い合わせ下さい

気が緩んでいたのかも / ナイス・ケア

買い物代行の訪問介護でのこと。
「これと同じものを買ってきてほしい」と品物の袋を見せられて依頼を受けました。しかし、店頭を見て回っても、震災の影響で同じ商品は見当たらず、迷ったあげくに私が選んだのは、メーカー・量・産地の全てが異なる商品でした。戻って購入した商品を見せると「せっかく袋まで見せたのに...。あなたには誠意がない、プロじゃない」とお叱りを受けました。その言葉を聞いた時、担当になって日が浅い私に対して、購入して欲しい商品を間違えないよう、親切に教えて下さっていたことに気が付きました。直接確認や了解を得ずに軽率に購入したことを反省すると共に、利用者さんの優しさを感じました。厳しい言葉でしたが、この仕事に少し慣れてきて、気が緩んでいた私は目が覚める思いでした。心配りをきちんと受け止められるように頑張ります。 < K・N >

家政婦の有効利用法 / つしま紹介所

急に人の手助けが必要になった時
(大掃除や留守番の家事や介護サービス)
介護保険では頼めないことを助けて欲しい
短時間や週1回、月1回又は夜間のみの手助けが必要
入院して病院から家族付き添いを求められたが、都合が付けられない時等

介護保険が一般的になった現在、「家政婦さんの制度ってまだありますか??」という問い合わせも少なくありません。とっても簡単な申し込み手続きや利用契約で、個々の事情に合った家政婦の利用方法を一緒に考え、実際のお手伝いを得ることが可能です。利用料金や仕事内容の相談など気軽にご相談下さい。専用電話番号:0567-26-1281 < Y・I >

自宅でも通いの場でも / ナイス・ホーム

ナイス・デイに長く勤務していましたが、ナイス・ホームの担当として度々関わるようになり、半年が過ぎました。やっとホームの利用者さんと心を通い合えるようになった気がしています。ホームの利用者さんは訪問・通い・泊まりが同一事業所で、訪問で何うスタッフと通いでお会いするスタッフがほぼ同じメンバーになる為、通って来られている時と、自宅にいる時、どちらでも同じ表情をされている様子が分かり、嬉しく感じます。穏やかに落ち着いておられるように思うので、利用度の高い利用者さんにとっては良い制度ではないのかなぁと感じます。これからもナイス・ホームが安心して居心地の良いところであるように心掛け、毎日の仕事に携わっていきたいと思っています。 < E・T >



看護師コーナー / ~ 誤嚥・嚥下障害 ~ 日々関わる中での疑問や不安を少しでも解決できたなら...

お腹の中でしゃっくりが始まった! 懐かしい、この感覚。もうすぐ生まれる、お腹の子。1回目の分娩は25時間、さあ、今回は何時間かな。記憶が新鮮なだけに不安なようで、わき腹から赤ちゃんが生まれてきたり、生んだはずなのに赤ちゃんがいなかったり...そんな夢にうなされて過ごしている。そんなことはお構いなしに1歳5ヶ月の息子はわんぱく真っ盛り。あと2ヶ月もない一人っ子。いっぱい抱っこしてあげたいものの...重い重い(笑)。では、疑問解決コーナー始めます!

疑問6「パサパサしたものを残してしまいます。」...嚥下障害がなくてもそのままでは私たちでも飲み込みにくい。口の中で咀嚼して、唾液と混ぜ合わされて表面が潤い、一つの塊となった状態に整えられはじめて嚥下が可能となる。障害を持っている場合、その形に整えることができないので、例えば卵とじにして形を整えとよいだろう。

疑問7「食べやすい食品の温度は?」...咽頭粘膜に触れた時に嚥下反射を誘発しやすいのは、少し冷たいものだそう。逆に少し温かいものもよいのだが、体温と同じ「人肌」の温度の食べ物は刺激が少なすぎて適当とはいえないらしい。つまりは私たちが「おいしい!」と思う温度、やけどしないくらいの温度だったり、頭が痛くならない冷たさだったり...これって相当、難しい。でも大切なこと。

駆け込み食が多い日々。嚥下障害やら誤嚥やら...色々あるけれど、「食」というものの大切さを見直したい。胃ろうや経管栄養、嚥下食や離乳食、自分達の食、それらが本当に満たされること=生きること。 < M・T >

自分らしくのお手伝い / 愛宕の家

こんにちは。新しい年が始まり早くも1ヶ月が過ぎました。今年に入ってからは冬らしい冬になり、外から入ってくると愛宕の家の暖かさに顔も緩みます。“冬らしい”の言葉もですが、“自分らしく”や“その人らしく”など、私は常々“らしさ”を大切にしたいと考えています。愛宕の家の入居者さんは“自分らしく”生活出来ていますか?自分らしく生活する為に、私たちがお手伝いできることはなんだろう?私を含め関わっているスタッフが皆、いろいろと考え、相談し、工夫をしています。さんらしく生活していくためのお手伝い。これからもいっぱいさせて下さいね! < T・Y >



編集後記

天気予報で雪のマークが出ると、「訪問やデイやホームの利用や提供に支障がありませんように...」と願います。だって、雪景色はきれい。でも、車が渋滞したり、足元が悪くなったり...。勿論寒い...。利用者さんのお宅では、利用者さんやご家族が“訪問する私達”を心配して待っていてくれます。「雪で大変だったねえ。気を付けてね」その気持ちに応えるためにも、安全運転で予定通りに訪問することが大事だと感じます。 < A・M >